

「地域密着型の未来の“地域の創り手”人材の育成（ソピアの旗）プロジェクト」

- ・ 探究力、つながる力、多様性受容力、マネジメント力、レジリエンスをもった人材の育成
- ・ 直接・間接に関わらず郷土を愛し誇りを持った、未来の「地域の創り手」となる人材の育成

高知大学次世代地域創造センター
 京都大学大学院矢守研究室
 合同会社Noks Labo
コンソーシアム
 黒潮町 黒潮町観光ネットワーク
 黒潮町立佐賀中学校 黒潮町立大方中学校
 地域学校協働活動推進員
 高知県立大方高等学校（PTA・同窓会）
 高知県教育委員会

研究開発の実施体制

高知大学地域協働学部
 京都大学人と防災未来センター
 NPO砂浜美術館
運営指導員会
 高知県教育委員会
 黒潮町
 地域・教育魅力化プラットフォーム

カリキュラム開発等専門家

地域協働学習実施支援員

令和3年度の目標

変化の激しい社会で活躍できる人材の育成を目指し、黒潮町を題材に探究学習を行う。探究活動を通して、「探究力」・「つながる力」・「マネジメント力」・「多様性受容力」・「レジリエンス」といった力を育成する。

成果

- ・ 生徒アンケートより「地域の魅力や良さを理解する力が身についた」と答える生徒が増加した
- ・ 生徒アンケートより【社会参画意識】の項目が全体的に向上していた
- ・ 自分の言葉で伝えられるプレゼンテーション能力が身につけてきた
- ・ 目指す姿、つけるべき力が浸透してきた。

課題

・ 探究学習を「自分ゴト化」できず、主体的に学習に向かえない生徒に対する指導・支援方法が課題となっている。コーチングなどの教員研修も必要となってくるが、まずは学年団内で困り感や進捗状況の共有ができる環境づくりが必要である。定期的な共有会を開催するなど対応をしていく。

取組状況 カリキュラム開発等専門家や運営指導委員からの助言を受け、カリキュラムの見直しを行った

総合的な探究の時間



ケーススタディやディベートなどの活動をとおして、自己のキャリアを探究



“黒潮町の皆が幸せになる買い物”について、それぞれが発表



食品ロス解決にむけて、大学職員や役場の方々から多様な視点を心得て発表

地域学



避難場所ポスター作成

近隣の小中学校へ出前授業

